

蛍観察でジオパーク発見！

西ノ島町では、6月から7月にかけて蛍の季節です。西ノ島ふるさと案内人では、蛍を観光資源のひとつとして捉え、有志で町内の蛍の調査を行っています。

その中で一番のお勧めスポットは、由良比女神社だそうです。沢山のヒメボタルが飛び交い、ぼんやりとした明かりを灯した神社を背景にすると、とても幻想的に見えます。

また、美田川の下流では6月10日頃からゲンジボタルが見られましたが、7月初めごろには美田ダムの方へと出現場所が徐々に移っていくそうです。これには、蛍の孵化が温度や湿度との関係があると考えています。

蛍は、暑くて湿度があり、風のない日によく見られるそうです。また、ゲンジボタルは流水のある所に生息し、ヒメボタルは林の中や水のない所にも生息しますが、大山ダムの入り口では両方のボタルを一緒に見られます。

蛍の生息場所から、ジオパークの特徴について、何か気づくことも出来るかもしれません。皆さんも来年、注意して観察してみてくださいね。

お問い合わせは、西ノ島ふるさと案内人（TEL 08514-7-8888・西ノ島町観光協会）まで。



▲飛び交う蛍 撮影：丹野 志摩

西ノ島町教育委員会 Tel 08514-6-0171

ご芳志

西ノ島町社会福祉協議会へ次の方々からご寄付をいただきました。謹んで厚くお礼申し上げます。

香典返しとして

金一封 鼻 幸子 様 物井
金一封 小魚 悟 様 浦郷

一般寄付として

金一封 齋藤 幸子 様 東京都

戸籍の窓

（平成29年6月届出分）

（敬称略）

おくやみ

亀澤	ミツ子	93歳	浦郷
鼻	ヒロ子	89歳	物井
小魚	トシ子	84歳	浦郷

「ふるさと西ノ島基金わがごとく」に
ご寄付を頂きました。

寄付者…289名

平成29年度分寄付金総額（6月末現在）

4,415,000円

ありがとうございました。企画財政課

にしのしま

マイバッグキャンペーン実施中！

マイバッグを持つことは、一人一人が実行できる、もっとも身近な環境保護運動の一つです。

レジ袋を使わず、繰り返し利用できるマイバッグを使うことで、ごみの削減や、それに伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの削減、レジ袋の原料となる原油の節約（資源保護）へとつながります。

6月実績6,580枚、のべ367,160枚レジ袋が節約されました。

今後もマイバッグキャンペーンは続きます。

西ノ島町地球温暖化対策地域協議会

今年の夏は
三つのジャンボ祭り

1億円
7億円
100万円

7月18日(火) 同時発売！

2017年市町村振興宝くじ

発売期間：7月18日(火)～8月10日(木)
抽せん日：8月20日(日)

※1枚300円

集落支援員活動日誌

2017
Vol. 18

【お問い合わせ先】

西ノ島町役場

観光定住課内 集落支援員

TEL...7・8131
FAX...7・8025

支障木の伐採

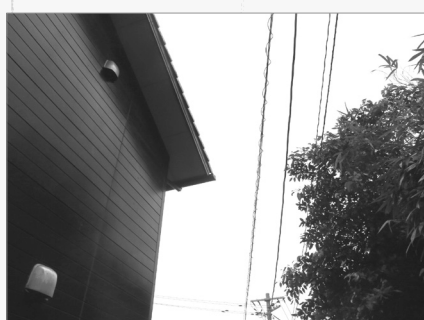
平成29年6月、第2由良町営住宅の敷地内にある植樹や自生した木が住宅の屋根・壁・電線に接触、今後も成長し影響が出る恐れもあるため伐採を行いました。

住宅敷地に生えた草刈り等は入居者の皆様に行っていただいておりますが、困難な作業などがございましたらご連絡頂けたらと思います。

作業前



作業後



▲隙間わずか 30cm



▲フェンスと一体化した幹



▲周りが明るくなりました

直径30cm、高さ10m近いこのカラスザンショウは、驚くことにコンクリートとフェンスの僅かな隙間に根を張り成長していました。葉も大きく日光をさえぎり昼間でも薄暗い状態でした。

枝だけでなく幹全体にもトゲがあるので、近づく際は注意が必要です。